

平成23年度予算の使い道 新しい施策など主な事業



日本一安心・安全なまちづくり
セーフコミュニティ推進事業



快適な生活環境づくり
自主防災訓練活動助成事業



幸せを支える健康づくり
小児休日急病診療事業の充実



産学官連携の魅力づくり
観光ボランティア事業



市民との協働のまちづくり
NPO発！“市民のまなび”応援事業

日本一安心・安全なまちづくり

■セーフコミュニティ推進事業 446万7千円
すべての市民が犯罪・災害・事故などのない安全で安心して暮らせるまちづくりを目指し、世界保健機関（WHO）の取り組みである「セーフコミュニティ」認証取得に向けた活動を進めます。

快適な生活環境づくり

■自主防災訓練活動助成事業 60万円
市内の自主防災組織の活動支援を目的に、松原市自主防災組織連絡協議会に登録している組織に対し、研修・訓練・資機材整備を行った場合の活動助成を行います。

■防犯カメラ補助事業および地域安全促進用防犯カメラ設置補助事業 863万2千円
町会などが設置する防犯カメラに助成を行うことで犯罪防止に努めます。また平成23年度は、松原警察が指定する区域において、町会が防犯カメラを設置するための助成を行い、街頭犯罪防止に向けたさらなる取り組みを行います。

幸せを支える健康づくり

■元希者（高齢者）肺炎球菌ワクチン接種助成事業 2,405万5千円
平成23年度から市単独事業として元希者（高齢者）肺炎球菌ワクチン接種助成を新たに実施し、疾病予防の充実を図ります。

■小児休日急病診療事業の充実 3,443万6千円
小児休日急病診療事業において、松原徳洲会病院で、新たに土曜日の午後についても実施し、さらなる地域医療体制の確保に向けた取り組みを推進します。

■臨床研修医募集支援事業 480万円
医師確保の取り組みとして、今後の松原市の医療の充実を図るため、市内臨床研修指定病院に勤務される研修医に対する補助制度を設けます。

産学官連携の魅力づくり

■観光ボランティア事業 ゼロ予算
阪南大学と文化情報振興事業団と連携し、市内における文化・歴史施設や景観を案内する観光ボランティアを育成します。

未来を担う個性あるひとづくり

■留守家庭児童会室運営事業 1億7,945万9千円
職員の非常勤化など管理運営費の見直しを行うことにより、1時間の延長保育など、より充実した運営を行い、留守家庭児童の放課後の安心・安全な保育指導を行います。

■市立小学校セフティスクールサポート事業 3,116万円
大阪府の補助制度はなくなりましたが、全15校の校門に管理員を配置し、学校の安全確保として引き続き実施します。

市民との協働のまちづくり

■NPO発！“市民のまなび”応援事業 50万円
地域の身近な課題に対し、市との協働で解決していく事業を、NPO法人やボランティア団体をはじめとするNPOの皆さんに公募します。



平成23年度 予算と各種施策

予算を知る



平成23年度の予算が、市議会第1回定例会で可決されました。一般会計は412億3800万円、これに特別会計と企業会計を含めた総額は795億8528万8千円となり、前年度に比べると38億3030万4千円（5.1%）の増加となっています。今回は、既成概念や固定観念にとらわれない、チャレンジ予算として編成した平成23年度の予算の内容と各種施策について紹介します。
問合せ 財政課



「更なる挑戦と飛躍 そして 夢の実現」 日本一安心・安全なまちを目指して

このたびの東北地方太平洋沖地震により被災されました方々からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。さて、本市におきましては、歴史的な転換期を迎えている今日、直面する困難を確実に乗り越え、自立した基礎自治体として未来を見据え、時代の要請に合った行政サービスを展開することで、誰もが夢と希望を持てる「夢のあるまつばら」の実現を目指してまいります。

明日のまつばらづくりの主役は、言うまでもなく市民の皆様です。潤いと安らぎに満ちた地域づくりに向け、市民の皆様それぞれの思いを真剣に受け止め、暮らしや経済、環境などの面で、十分に連携を図りながら、地域が元気になる取り組みを着実に推し進めてまいります。

まつばらの将来設計図は、行政だけで創っていくものではないと信じています。誰もが穏やかな、やさしい、心のゆとりを持つ生活を望んでいます。まつばらで生まれ・育ち・学び、まつばらで働き・暮らす、市民の皆様全員が、健康で・安心して暮らしを営めるよう、私たちのまち「まつばら」を発展させていかなければなりません。

市民の皆様、議員各位、そして、行政の総力を集結し、私たち全員が夢と希望を抱くことのできるまちを創造してまいります。

市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



松原市長
澤井宏文

平成23年度松原市当初予算

総額795億8,528万8千円

使うお金 歳出

歳出の主な内訳

- 民生費 子ども・高齢者・障害者・母子に対する福祉に約88億7千万円、医療に約6億9千万円
- 土木費 公園や道路の整備に約8億1千万円、交通安全対策に約1億3千万円
- 総務費 戸籍や住民票、広報紙などの発行に約9千万円、街の防犯や自治振興、ぐるりん号などに約9千万円
- 教育費 幼稚園、小中学校の運営管理に約12億1千万円、生涯学習などの活動に約3億2千万円
- 衛生費 予防接種や健康づくりに約6億1千万円、排水路清掃などのまちな環境保全に約18億2千万円

一般会計の歳出

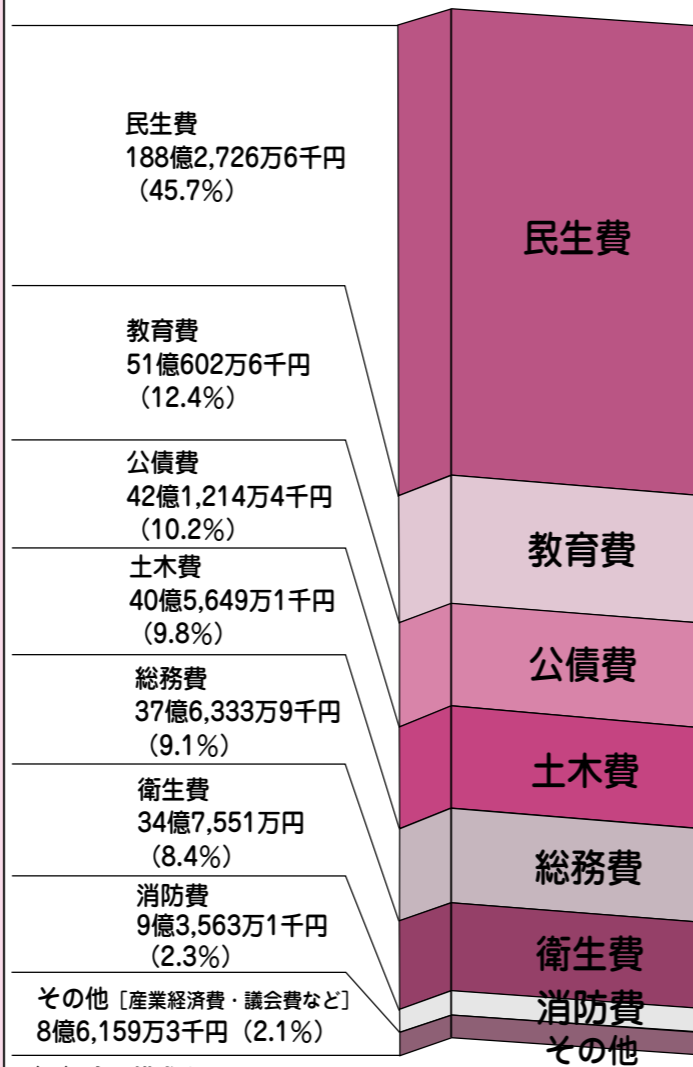
歳出については、子ども、高齢者、障害者への福祉や介護、医療、保育などの事業に充てられる民生費が約188億3千万円（前年度比5.7%増）で、全体の約46%を占めており、大幅な増額の要因は、生活保護および子ども手当の支給に伴うものです。

その他に、幼稚園、小中学校の運営管理や生涯学習などの活動に充てられる教育費が約51億1千万円（同41.3%増）、道路や公園などの整備に充てられる土木費が約40億6千万円（同0.9%減）、地域の保健やごみ処理などに充てられる衛生費が約34億8千万円（同6.4%増）となっています。

教育費の増額の要因は、松原市立学校給食センター新設（約16億円）によるものです。また、衛生費の増額の要因は、高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成などに係るものです。次に、土木費の減額の要因は、阪神高速大和川線関連市道整備事業に係る経費が事業進捗による影響で減少したものです。

一般会計

412億3,800万円



() 内は構成比

歳入 入るお金

歳入の主な内訳

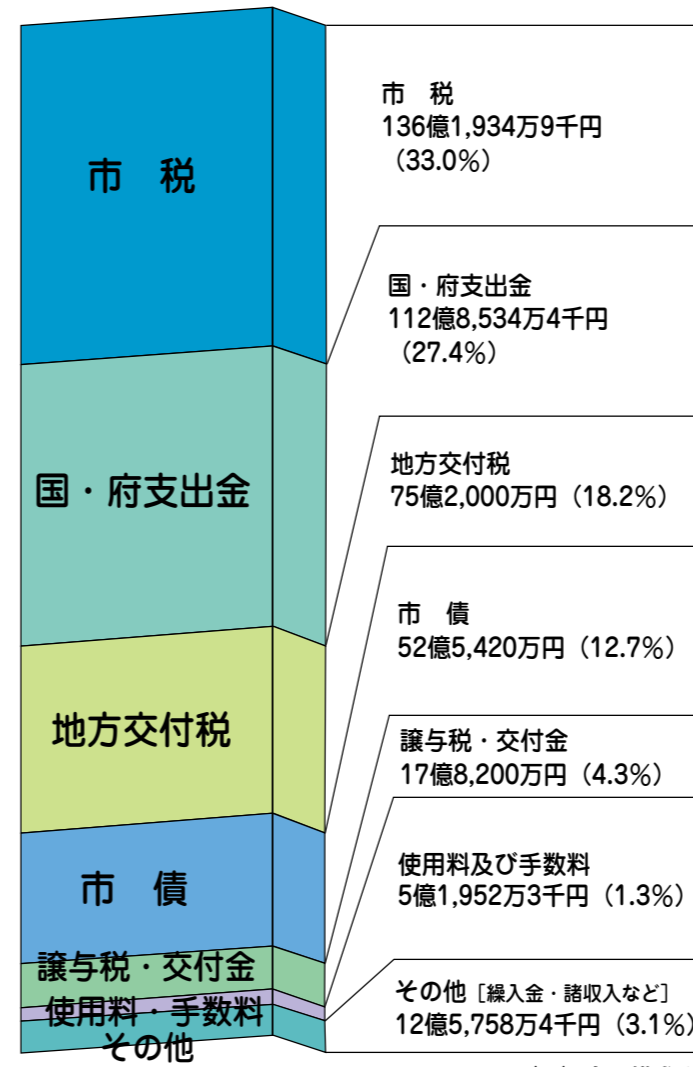
- 市税 市民税約58億8千万円、固定資産税約56億2千万円、都市計画税約12億6千万円、市たばこ税約7億5千万円
- 地方交付税 普通交付税72億9千万円、特別交付税2億3千万円
- 国庫支出金 生活保護に約36億5千万円、子ども手当に約22億3千万円
- 府支出金 高齢者や障害者などの医療費助成に約2億5千万円、子育て支援に約2億1千万円
- 交付金 地方消費税交付金11億3千万円、地方特例交付金約2億2千万円
- 使用料及び手数料 市営住宅約1億円、幼稚園保育料約3千万円

一般会計の歳入

歳入については、市民税や固定資産税などの市民の皆さんから納めていただく市税が約136億2千万円（前年度比1.9%減）で、全体の約33%を占めています。

その他に、行政サービスを維持していくために国から交付される地方交付税が75億2千万円（同1.3%増）、特定の事業の経費として国から支出される国庫支出金が約79億9千万円（同11.2%増）、府から支出される府支出金が約33億円（同5.0%増）となっています。国庫支出金の大幅な増額の要因は、生活保護費および子ども手当の支給に伴うものです。また、府支出金の増額の要因は、子宮頸がん等交付金および子ども手当の支給に伴うものです。

また、国や金融機関から借り入れる市債は約53億円（同34.8%増）となっており、松原市立学校給食センター新設による起債の大幅な増加（約14億円）が増額の要因となっています。



() 内は構成比

一般会計予算で市民一人あたりに使われるお金 327,955円

(目的別歳出の額を3月1日現在の人口(125,743人)で割った金額です)

<p>民生費 149,728円 高齢者・障害者・子どもの福祉など</p>	<p>教育費 40,607円 学校教育や生涯学習など</p>	<p>土木費 32,260円 道路・歩道・公園整備など</p>	<p>公債費 33,498円 借り入れた資金の返済費用</p>
<p>総務費 29,929円 情報処理・広報・文化振興など</p>	<p>衛生費 27,640円 地域保健やごみ処理など</p>	<p>消防費 7,441円 消防・災害対策など</p>	<p>その他 6,852円 産業経済費、議会費など</p>

平成23年度の松原市当初予算の概要

会計名	23年度予算額	増減率(%)
一般会計	412億3,800万円	6.8
特別会計		
国民健康保険会計	172億3,000万円	2.5
下水道会計	66億円	7.2
財産区会計	15億1,977万9千円	△2.2
介護保険会計	83億735万8千円	2.1
後期高齢者医療会計	11億5,805万1千円	△3.2
小計	348億1,518万8千円	2.9
企業会計		
水道事業会計	35億3,210万円	7.1
小計	35億3,210万円	7.1
合計	795億8,528万8千円	5.1

今年度の予算総額は795億8,528万8千円で、前年度に比べると38億3,030万4千円(5.1%)の増額となっています。一般会計でみると412億3,800万円で、前年度に比べると26億2,800万円(6.8%)の増額となっています。

一般会計：市が行う仕事の大部分を賄う予算で、市税や国・府からの支出金などを財源にしているものです。福祉、健康、教育や道路、公園の整備など、市民の皆さんに最も関わりの深い予算です。

特別会計：特定の歳入や歳出を一般会計と区別して運用する予算で、国民健康保険特別会計や下水道事業特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計などの会計があります。

企業会計：一つの会社のように、独立採算制で事業・経理を行うもので、水道事業会計があります。